

組織、人事・賃金制度改悪一乗務手当廃止反対！ 強制配転するな！ 融合化、ワンマン化反対！ ローカル線切り捨てやめろ！

# 2/10喜勢社長が事故続発で会見

## 外注化・融合化・コスト削減の 開き直りは許されない！



共同通信がYouTubeで  
会見全体を報道(26/2/10)



「因」等と語っています。

2月10日、喜勢社長は定例会見の内容を変更し、この間の事故・輸送トラブルについての謝罪・説明を行いました。

今後の取り組みとしては、作業手順の見直し、技術系社員の採用を約150名増加、コロナ禍で削減（3年間で約800億円）した修繕費の増額、グループ・パートナー会社（以下、「G社・P社」）の処遇改善などを挙げました。

### 開き直りと責任転嫁の会見

会見で喜勢社長は、一見「謝罪」「反省」しているような言い回しでした。しかしその中身は、ずっと「経営判断（外注化やコスト削減等）は間違っていない」という開き直りと責任転嫁が続いています。

◎まず、「事故原因はそれぞれ個別のもの」「修繕費抑制が原因ではない」「モニタリングはきちんと行っていた」「人為的なミスが原因」等と語っています。

◎修繕費の削減についても、「やむを得なかった」「最低限の安全レベルは守った」「安全をおろそかにしていない」と完全に正当化しました。そして結局、「800億円を金額で取り戻すという話ではない」と回答しました。

◎ミスが連続した背景事情を問われた際、「今後の取り組みで挙げた点が背景事情」といいながら、「G社・P社の処遇が良くないということか」と問われても直接答えず、認めませんでした。

### ただちに外注化・融合化撤回を

とりわけ、あくまで外注化を前提に、「JR本体からG社・P社に向向して技術習得」「将来仕事があるか分からなければ、G社・P社が鉄道事業から仕事を移してしまうから中長期的な計画を共有」「G社・P社のベテラン、技術ある皆さんの雇用を維持しなければいけない」などと語っていることは本当に許せません。

これだけ事故・トラブルを続発させておきながら、まったく責任を取ろうといたしません。外注化、業務融合化、コスト削減を現場に強制して、安全を崩壊させたのは誰なのか。何よりも、すべての外注化・融合化を撤回するのが当然です。